

# 学力向上に効果のある取組事例

日出町立日出小学校

## ⑨その他(協働して学び合う教科等横断的な授業づくり)

### 取組の具体①

#### ○教科等横断的な視点での授業づくり

##### ①実態の適切な把握

- ・学校の教育目標達成に向け、全教職員でのワークショップ(児童の良さ、課題) <実態の共有>
- ・児童の課題から、具体的な目指す子どもの姿の設定、育成を目指す資質・能力の焦点化 <具体化><焦点化>

##### ②教科内容の組み立て

- ・単元配列表の中から、学校の教育目標の実現や育成を目指す資質・能力に「特に関わりが深い」と思われる単元の精選・関連付け
- <前年度の単元配列表→活用型単元配列表>

##### ③要となる国語科の確かな学び

- ・筋道を立てて考え表現する土台としての言語能力を身に付け、活用する子どもの育成
- ・言語能力育成ハンドブックの活用

**活用型単元配列表(一部抜粋)**

○学習指導案より抜粋

(3) 育成をめざす言語能力と関連する教科の学び

教科(単元名)	関連する言語能力
国語 (いちばん大事なものは)	互いの立場や意図を明確にするとともに、意見や主張、判断等に対して適切な理由や根拠を考え、交流する。

『言語能力』育成ハンドブック』の関連ページ  
・・・22ページ「思いを共有しよう」

### 取組の具体②

#### ○言語能力を活用した、効果的な交流活動

##### ①言語活動の指導案への位置付け

- ・1時間の授業に、学びの活用となる言語活動を位置付ける
- 言語活動は各教科領域のねらいを達成するための手段として活用

##### ②目的を明確にした交流活動の工夫

- ・見いだした課題の解決
- ・多様な見方、考え方の比較、検討
- ・考えの付加、修正、強化、深化 等

##### ③効果的な振り返り

- ・自己の考えの深まり、広がり、変容が自覚できる振り返りを行う
- 「友だちの意見で参考になったこと」「学んだことを生かして、これからどうするのかを考える」等をノートやワークシートに記入
- 「修正した自分の考えを使って、もう一度やってみる」「訂正した考えを再度交流させる」等、再度の取組、交流

#### 言語活動の指導案への位置付け

指導・支援	学びの活用	評価規準
○自分の考えをノートに書きなおさせる。 ・前回の原稿(発表メモ)を、修正させる。 ・「ゲットカード」内の「考え・根拠・説明の仕方」のどの項目を活用するのかを明確にして見直しをさせる。	<言語活動> ゲットカード 書いた内容をもとに自分の考えを見直し、発信する。	【思考・判断・表現】 友だちの考えを取り入れて自分の考えを付加修正して話しているか。 <ゲットカード・ノート・観察>
○書き直した考えを友だちと交流させる。 ・班の友だちと考えを交流させる。 ・感想を付箋に書き、渡しあう。		
○本時の振り返りをする。 ・友だちの考えや説明を取り入れてみてどうでしたか?		

#### 交流時のノート

